

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																							
オホーツク社会福祉専門学校	平成10年3月24日	棧 邦雄	〒090-0817 北海道北見市常盤町3丁目14 (電話) 0157-24-1560																							
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																							
学校法人栗原学園	昭和44年3月31日	柏尾 典秀	〒090-0817 北海道北見市常盤町3丁目14 (電話) 0157-24-1560																							
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																						
教育・社会福祉	教育社会福祉専門課程	こども未来学科	平成6年文部科学省告示第84号認定	—																						
学科の目的	保育・幼児教育者として子どもたちの成長に合わせた幅広い対応が出来るよう、専門的能力を身に付ける。市などが関連する子ども達との行事や活動に積極的に参加し、多くの経験から成長するとともに、保育資格だけでなく、高齢者障がい者との接し方や、環境意識授業を導入し、即戦力となる学生の育成を目標としている。																									
認定年月日	平成26年3月31日																									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																			
2年	昼間	1710時間	435時間	1005時間	240時間	〇〇	30時間																			
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
80人	66人	0人	5人	27人	32人																					
学期制度	■前期 4月1日～9月30日 ■後期 10月1日～3月31日	成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験(引き、口述、論文、実技)及び、出席日数																							
長期休み	■学年始:4月1日～ ■夏季:7月16日～8月17日 ■冬季:12月17日～1月17日 ■学年末:3月15日～3月31日	卒業・進級条件	卒業支援及び進級試験																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 定期的な個人面接、家庭への文書連絡等	課外活動	■課外活動の種類 学生自治会・ボランティア ■サークル活動: 有																							
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) 認定こども園 幼稚園 保育園 児童養護施設 放課後等デイサービス等 ■就職指導内容 就職先(受験先)を決定する前の、個人面談を十分に行い希望に合う施設種別に就職出来るよう対応。市町村保育園、学校法人立保育園、障がい児系施設などそれぞれに合う面接練習 ■卒業者数 24人 ■就職希望者数 24人 ■就職者数 24人 ■就職率 100% ■卒業者に占める就職者の割合 : 100% ■その他 ・進学者数: 〇人 ・〇〇〇〇〇 (令和3年度卒業者に関する時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報)																						
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育士</td> <td>①</td> <td>24人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>幼稚園教諭2種</td> <td>①</td> <td>23人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	保育士	①	24人	24人	幼稚園教諭2種	①	23人	23人								
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																							
保育士	①	24人	24人																							
幼稚園教諭2種	①	23人	23人																							
中途退学の現状	■中途退学者 5名 令和3年4月1日時点において、在学者57名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者52名(令和4年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 学校生活への不適合・進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 個人面談 保護者面談 家庭訪問の実施等		■中退率 10% ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等																							
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 「栗原太郎・栗原寛隆・藤田禮三基金」卒業後5年間で授業料、施設費、実習費を返還 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 前年度の利用はなし																									
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																									
当該学科のホームページURL	http://kurihara.ac.jp																									

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
 「地育地活」地元で育ち地元で活躍する人材の育成を掲げ、深い愛情をもって人と接し仕事に臨むための知識や技術を身に付け、強い精神力を備え、自ら進んで誠心誠意汗をかきながら行動できる人材をめざし、そのためには企業との連携を密に、学校と企業との役割分担を明確にし、実習、講演などで新たに必要となる知識技術技能等を十分に把握し、分析し、今後の授業科目の開設や

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
 ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
 教育課程編成委員会の討議事項を受け、各学科にて検討したものを学園学科長会議にて討議し、最終的に学園経営会議にて討議し、より実践的な教育課程の編成を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 令和4年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
椋 邦雄	学校法人栗原学園学園長 理事 オホーツク社会福祉専門学校 校長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(任期2年)	
畠山 友子	オホーツク社会福祉専門学校 介護福祉科 学科長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(任期2年)	
田中 由佳	オホーツク社会福祉専門学校 こども未来学科 学科長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(任期2年)	
田村 智美	オホーツク社会福祉専門学校 歯科衛生士科 学科長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(任期2年)	
松浦 信一	医療法人社団松浦歯科医院院長 北見摂食嚥下ケア研究会会長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(任期2年)	①
中野 武房	学校カウンセリング研究会会長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(任期2年)	②
高橋 正明	社会福祉法人恵和福祉会 介護老人保健施設 緑風 事務長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(任期2年)	③
岡田 直美	学校法人北見明和学園 認定こども園 北見くるみ幼稚園 園長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(任期2年)	①

※委員の種別の欄には、**企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)**

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
 (年間の開催数及び開催時期)
 年2回

(開催日時(実績))
 第1回 令和4年6月30日 18:00～19:00
 第2回 令和5年2月

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
 実習生への過度の指導等(実習日誌・指導案の訂正・指導のあり方)企業側も検討する必要がある。また、学校側においては、メンタルケアの必要性が昨今増加している中で、実習に向けてのモチベーション等へのアクションがさらに必要。双方の協力体制により、職業人としての自覚や心構えなどの育成をしていく事が大切である。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
 保育施設実習はその習得した教科全体の知識、技能を基盤とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うため、児童に対する理解を通じて保育の理論と実践の関係について習熟させることを目的とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容
 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
 指導案の作成では、実習受入側担当者、教員、学生が十分なコミュニケーションや相談を通じて充実したものになるよう作成。また、造形授業で制作した椅子等子ども達の教育に役立つものについての寄贈等を行うことで、日頃より多くの交流から学習を深めている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
保育実習Ⅰ	①保育全般に参加し、保育技術を習得する。 ②子どもの個人差について理解し、対応方法を理解する。特に発達の違いや生活環境に伴う子どものニーズを把握し、その対応について学ぶ。 ③保育所の保育士に求められる資質、能力、技術に照らし合わせて自己の課題を明確化する。	北見市立保育園 北見くろみ幼稚園 認定こども園めぐみ 認定こども園ひかり 認定こども園ほっこり 認定こども園北進 美幌町立保育園 光西認定こども園 みなみ認定こども園 夕陽ヶ丘認定こども園 認定こども園つくし 北見つくし保育園 認定こども園みわ 認定こども園あいのない 認定こども園美山遊子 認定こども園緑ヶ丘遊子 こびとのうち保育所 ひまわり学園 北光学園 コスミック 青空みらい 網走オホーツクスポーツクラブ らぼーる そるーな るべしベ光星苑 日の出学園
保育実習Ⅱ	①保育実習Ⅰを踏まえ、より深く保育園について理解する。②実践を通して、保育士としての職務を理解する。③子ども理解を充実させ、実践力を身に付ける。④子どもとのコミュニケーションの方法を具体的に習得する。⑤地域社会に対する理解を深め、連携の方法について具体的に学ぶ。	北見市立保育園 北見くろみ幼稚園 認定こども園めぐみ 認定こども園ひかり 認定こども園ほっこり 認定こども園北進 美幌町立保育園 光西認定こども園 みなみ認定こども園 夕陽ヶ丘認定こども園 認定こども園つくし 北見つくし保育園 認定こども園みわ 認定こども園あいのない 認定こども園美山遊子 認定こども園緑ヶ丘遊子
保育実習Ⅲ	①保育実習Ⅰを踏まえ、養護・療育を理解し、技術・知識を身に付ける。 ②援助計画等を立案し、実践する。③児童福祉施設等の保育士に求められる資質・能力・技術に照らし合わせて即戦力となる実践力を身に付ける。	北見市児童センター ひまわり学園 北光学園 らぼーる コスミック 緑ヶ丘遊子児童館

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

<p>(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針</p> <p>教員に必要な専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を習得・向上するための研修を企業等との連携のもと、定期的に組織的な研修の機会を設ける。研修に当たっては、職務の一環として参加している。</p>
<p>(2) 研修等の実績</p> <p>① 専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>実習指導者認定講習</p>
<p>② 指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>学園研修(年2回)</p>
<p>(3) 研修等の計画</p> <p>① 専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>1「幼稚園・認定こども園キャラバン」(連携 公益社団法人北海道私立幼稚園協会)</p>
<p>② 指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>全国保育士養成協議会北海道ブロック研修会</p>

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の教育活動及び学校の運営の状況について、自己評価結果に基づき学校関係者評価を行い、学校運営の改善並びに教育水準の向上に資するための対策を講じる。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

幼保一元化に伴い学生のより一層の質的向上が求められる中、教授する側に保育現場で現状起こっている問題については可能な限りの情報提供の必要性を感じ、情報提供として支障の出ない範囲で協力頂いている。問題解決を学生が学べることで今後の保育人材不足解消にもつながるのではないかと。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
棧 邦雄	学校法人栗原学園学园长 理事 オホーツク社会福祉専門学校 校長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(任期2年)	
畠山 友子	オホーツク社会福祉専門学校 介護福祉科 学科長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(任期2年)	
田中 由佳	オホーツク社会福祉専門学校 こども未来学科 学科長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(任期2年)	
田村 智美	オホーツク社会福祉専門学校 歯科衛生士科 学科長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(任期2年)	
中野武房	学校カウンセリング研究会会長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(任期2年)	有識者
松浦信一	医療法人社団松浦歯科医院院長 北見摂食嚥下ケア研究会会長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(任期2年)	有識者 実習施設
高橋 正明	社会福祉法人恵和福祉会 介護老人保健施設 緑風 事務長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(任期2年)	実習施設
岡田 直美	学校法人北見明和学園 認定こども園 北見くるみ幼稚園 園長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(任期2年)	実習施設
近藤 千鶴	(株)ベストミント代表取締役社長 学)栗原学園 同窓生	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(任期2年)	同窓生 企業役員
細谷 真希子	オホーツク社会福祉専門学校 父母協力会	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(任期2年)	PTA

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <http://kurihara.ac.jp>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に沿って、学校案内・募集要項等の印刷物、ホームページ、そして学園広報紙「Net Work」を年2回発行し情報提供を行っている。
毎年、学校関係者評価委員会で確認後、10月1日には公表できるようにしている。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	・学校案内 交通アクセス、
(2) 各学科等の教育	・学科案内
(3) 教職員	・事業報告書(抜粋)
(4) キャリア教育・実践的職業教育	・就職・進学案内 就職サポート、就職先一覧
(5) 様々な教育活動・教育環境	・事業報告書(抜粋)
(6) 学生の生活支援	・入学案内 各種サポート制度
(7) 学生納付金・修学支援	・入学案内 学費・納入方法、学費分割納入制度
(8) 学校の財務	・財務計算に関する書類
(9) 学校評価	・自己点検評価報告書
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <http://kurihara.ac.jp>

12																							
13																							
14																							
15																							
16																							
17																							
18																							
19																							
20																							
合計				科目																単位時間(単位)	

卒業要件及び履修方法			授業期間等	
授業出席率	単位認定試験（実技・筆記等）	レポートなどで判定	1学年の学期区分	2期
			1学期の授業期間	30週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。